

令和 7 年度 第 2 回 蕨市総合教育会議

令和 8 年度
教育事業の概要(案)



令和 8 年 2 月 4 日
蕨市教育委員会

○蕨市教育大綱（抜粋）

Ⅱ 蕨市の教育の目指す姿

基本理念

**生きる力を育み ともに学び
未来を拓く蕨の教育**

基本方針

- I 確かな学力と豊かな人間性をもち
たくましく生きる子供の育成**
- II 交流の輪を広げる
生涯を通じた学びの支援**

基本目標

- ① 学びあい高めあう学校教育の充実**
- ② 生涯学習を支える社会教育の充実**
- ③ どこでもだれもが親しめる生涯スポーツの充実**

共通の視点

次の2点を計画全体に共通する視点として各施策に反映します

- ①持続可能な開発目標(SDGs)の実現に向けた教育の推進**
- ②教育デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進**



学びあい高めあう学校教育の充実

1 教育センターの効果的な運用

- ・ 予 算 額 : 7,673万円 (ICT支援員分を除く)
- ・ 事業概要 :

これまでの教育相談、環境改善のための支援、日々草学級・日本語特別支援教室での支援、教職員研修・学校コーディネート事業のほか、GIGAスクール構想に基づくICTを効果的に活用するための教職員研修について一層の充実を図っていく。

ICT支援員を引き続き配置し、教職員のICT活用指導力を向上させ、児童・生徒の情報活用能力を育成するための研修をさらに充実させていくほか、優れた教育実践に係る資料等をクラウド上に集約し、教職員が必要なときに共有し、個別に研修できる環境の充実を図っていく。

(担当＝学校教育課)



▲ICTを効果的に活用するための教職員研修

2 学校におけるICTの効果的な活用

- ・ 予 算 額 : 1,734万6,000円
- ・ 事業概要 :

令和2年の12月末に、全児童・生徒への1人1台のPC端末等を整備し、令和7年10月末までに端末の更新が完了した。教職員が授業等においてICTを効果的に活用できるよう、ICT支援員等による、専門的な研修を実施しているほか、蕨市の教職員ポータルサイト上で、マニュアルや研修動画、ICTの効果的な活用事例等を共有し、教職員がいつでも自分のペースで研修を進められる体制を整えることで、研修の充実を図っている。

また、令和7年度より1名ICT支援員を増員し、授業や校務、教職員研修等、学校における教職員のICTの活用支援をとおして、全ての学習の基盤となる資質・能力である児童・生徒の「情報活用能力」の育成を図っていく。

(担当＝学校教育課)

3 ALT や英語 4 技能テストを活用した外国語教育

- ・ 予 算 額 : 5,320万5,000円
- ・ 事業概要 :

小学校における外国語及び外国語活動の授業や、中学校における外国語の授業のより一層の充実を図るため、全小・中学校へのALT 1名の配置を継続する。また、中学校2年生及び3年生には、引き続き英語4技能テストを実施し、教職員研修、GIGAスクール端末を活用した外国語学習を組み合わせた生徒の外国語活用能力の一層の向上を図っていく。

(担当=学校教育課)



▲英語4技能テストを活用した外国語活用能力の向上

4 日本語特別支援教育支援員による日本語指導の実施

- ・ 予 算 額 : 759万8,000円
- ・ 事業概要 :

日本語を母語としない児童生徒を対象にした日本語指導のより一層の充実を図るために、蕨市教育センターと令和7年度に塚越地区に整備した日本語特別支援教室の2教室で、日本語特別支援教育支援員2名体制の下、蕨市の子供たちが安心して学校生活を送り、学び、成長するよう、支援の充実を図っていく。

(担当=学校教育課)



▲教育センターでの日本語指導

5 特別支援教育支援員の増員

- ・ 予 算 額 : 1,375万8,000円
- ・ 事業概要 :

通常学級における教育上特別な支援を必要とする児童生徒の増加に対して、特別支援教育支援員を令和7年度の10名から5名増員し15名体制にすることで、学習面や生活面に関してよりきめ細やかな支援を行っていく。

(担当=学校教育課)

6 校内教育支援センターの拡充

・予算額：4,386万6,000円

・事業概要：

学びの保障と居場所づくりを目的に、令和7年度より各中学校に校内教育支援センター（e-station）を設置し、市費採用の臨時教員とサポートスタッフを雇用した。令和8年度は、新たに東小・西小・南小・中央東小の小学校4校を拠点として、市費採用の臨時教員を雇用し、児童生徒に対して積極的に関わり、不登校対策のさらなる充実を図っていく。

（担当＝学校教育課）

7 デジタル教材整備・活用事業

・予算額：866万3,000円

・事業概要：

児童生徒一人一人に応じた学びを提供するため、小・中学校において、ICTを活用したデジタル教材を整備する。これにより、児童生徒一人一人の学習状況や学習進度に合った出題による知識・技能の効果的習得・定着を図るとともに、児童生徒の習熟の度合いを含めた学習状況の把握による指導の個別最適化を図る。

また、不登校児童生徒への学びの保障や、プリントの作成・配布・回収・採点等に係る教職員の業務の軽減等、学校におけるデジタル教材の効果的な活用を促進する。

（担当＝学校教育課）

8 水泳指導民間委託

・予算額：3,034万3,000円

・事業概要：

小・中学校の水泳授業では天候の影響を受け、計画どおりに実施できないことや、近年の猛暑に対する安全確保が課題となっている。また、プール施設の老朽化も進んでいるため、児童生徒の安全を確保し、年間を通して計画的に授業実施ができる、民間施設を活用した民間委託方式での水泳授業を小学校5校に拡充して検証実施する。この結果を踏まえ、今後の水泳指導の方針について検討していく。

（担当＝学校教育課）

9 部活動の地域展開

- ・ 予 算 額：699万1,000円
- ・ 事業概要：

令和5年度より国の事業である「運動部活動の地域移行に向けた実証事業」を陸上・剣道・柔道について実施し、成果と課題を検証している。令和6年度からは、活動回数を40回と倍増し、全校からの参加に拡充した。令和7年度には、水泳を加えた4種目を実施した。令和8年度も実証事業を継続するとともに、関係団体等と連携を図りながら、蕨市にとってよりよい地域展開・地域連携について検討していく。



▲地域クラブ活動の様子(剣道)

(担当＝学校教育課)

10 スクールロイヤー制度の導入

- ・ 予 算 額：165万円
- ・ 事業概要：

弁護士による児童生徒間や保護者間のトラブルへの助言や、学校が抱える問題に対する法律相談等を実施するためのスクールロイヤー制度を導入することで、法的観点からの早期助言により、問題の深刻化を防ぎ、教職員が教育活動に専念できるように環境を整備する。

(担当＝学校教育課)

11 学校トイレの改修

- ・ 予 算 額：5億6,242万6,000円
- ・ 事業概要：

小・中学校の教育環境の改善を目的に、校舎のトイレ改修を計画的に進める。令和8年度は、西小学校、北小学校、中央東小学校、塚越小学校において、校舎内トイレの洋式化を含めた全面改修を実施するとともに、次年度の改修工事に向け、中学校3校の設計委託を行う。

(担当＝教育総務課)

1 2 学校照明のLED化

・事業概要：

国の指針に伴う一般照明用蛍光灯の製造終了（2027年末まで）を見据え、学校施設の教育環境維持のため、校舎・体育館照明及び中学校夜間照明灯のLED化を計画的に進める。

令和8年度から順次更新工事に着手し、令和9年度からの全校一斉供用（リース）開始を予定している。

なお、本事業は債務負担行為により実施するため、令和8年度の歳出予算計上はない。

※債務負担行為（令和8年度～19年度）

- ・小中学校照明設備 3億円
- ・中学校夜間照明灯 7,000万円

（担当＝教育総務課・生涯学習スポーツ課）

1 3 コミュニティ・スクール事業の推進

・予算額：35万円

・事業概要：

学校経営・運営や学校課題に対して、広く保護者・地域住民の皆さんが参画できるよう、令和元年度より東小学校、塚越小学校、東中学校の3学校区を1地区としたコミュニティ・スクールを、また令和5年度より第二中学校、西小学校、北小学校を1地区としたコミュニティ・スクールを設置している。令和6年度は、第一中学校区の南小学校、第一中学校の2校を1地区として、中央小学校、中央東小学校をそれぞれ1地区として設置する。これにより、市内全小中学校でコミュニティ・スクールが設置され、「地域とともにある学校づくり」を推進していく。

（担当＝学校教育課）



▲学校運営協議会の様子

1 4 小学校給食費の無償化及び中学校給食費の負担軽減

・ 予 算 額： 1 億 9,973 万 8,000 円

・ 事業概要：

【小学校給食費の無償化】

公立小学校の児童を対象に、保護者が負担してきた給食費を国の支援によって軽減し、子育て世帯の経済的負担を和らげることを目的とする。児童1人あたり月額5,200円を公費で支援するため、これにより実質的な無償化が実現する。

【中学校給食費の負担軽減】

昨年度に引き続き、原油価格や物価高騰の影響を受けている食材費について、保護者の負担増を抑制するため、学校給食費、月額4,900円は据え置きとし、市が食材費の一部を支援する。

あわせて、第2子以降の学校給食費を償還払いにより全額補助し、実質無償化にする。
(担当=学校給食センター)

※予算額の計算基礎

小学校給食費の無償化 ⇒ 賄材料費 1 億 7,939 万 3,354 円 (児童分)

中学校給食費の負担軽減 ⇒ 賄材料費 1,657 万 1,321 円 (生徒分)

第2子以降無償化 ⇒ 学校給食費補助金 377 万 3 千円

合計 ; 1 億 9,973 万 7,675 円



生涯学習を支える社会教育の充実

1 西公民館等複合施設整備事業

- ・ 予 算 額 : 7億6,831万2,000円
- ・ 事業概要 :

西公民館と老人福祉センター松原会館との複合施設建設工事を令和7年度から8年度の継続事業として行っており、工期は令和9年3月12日までとしている。

工事及び監理委託の他、館内備品の整備等を行い、より使いやすく充実した施設となるよう、今後着実に整備を進めていく。

また、移転後に現西公民館・松原会館を解体するにあたり、令和8年度に解体工事設計委託を行う。



▲西公民館等複合施設のイメージ

(担当＝西公民館)

2 蕨市新図書館整備基本方針に基づく移転への準備

- ・ 事業概要 :

蕨市立図書館は、令和9年度中に蕨駅西口地区市街地再開発事業のB棟3階部分に整備される公共公益施設へ移転することが決定しており、新図書館の整備を進めていくにあたり、要点となる事項について方針を定め、広く周知するものとして「蕨市新図書館整備基本方針」を令和8年3月に策定する。

令和8年度は当基本方針に基づき、令和9年度の予算編成に向けた情報収集や近隣市立図書館の先進事例の状況把握に努め、関係各課と連携しながら移転への準備を滞りなく進めていく。

(担当＝図書館)

3 蕨市自然体験活動事業

- ・ 予 算 額 : 206万5,000円
- ・ 事業概要 :

群馬県片品村での「森林環境教育」や栃木県大田原市での「農家宿泊体験」等を通じ、自然と触れ合う事で、持続可能な社会の実現を考えるきっかけとし、生きる力や自然を大切にする心を育むとともに、集団生活による異年齢間交流により生活環境の違いや考え方など相互理解しながら自主性・協調性を育むなど、青少年の健全育成に必要とされる非認知能力の向上を目指す。

(担当＝生涯学習スポーツ課)



▲片品村での森林環境教育の様子(第2回)
令和7年7月19日(土)～20日(日)実施

4 音楽によるまちづくり

- ・ 予 算 額 : 405万円
- ・ 事業概要 :

音楽を中心とした蕨市の芸術文化の振興と、その推進を図るとともに、音楽により蕨のまちの魅力を発信することで賑わいを創出し、蕨市のイメージアップを図ることを目的とする。今年度も引き続き、「蕨市民音楽祭の開催」をはじめ、「音楽関連情報の発信」、「小・中学校への音楽家の派遣」を予定。

(担当＝生涯学習スポーツ課)



▲蕨市民音楽祭(令和7年8月31日開催)

第8回昭和歌謡紅白歌合戦





どこでもだれもが親しめる 生涯スポーツの充実

1 各種イベントやスポーツ教室等の開催

- ・ 予 算 額 : 372万1,000円
- ・ 事業概要 :
毎年恒例となっている市民ロードレース大会や市民水泳大会のほか、体力テストや少年スポーツ教室、民間温水プールの借り上げ事業等を実施し、健康・体力づくりに親しめる機会を提供する。

(担当＝生涯学習スポーツ課)



▲ロードレース大会

2 市民体育館アリーナの空調設備の整備

- ・ 予 算 額 : 2,623万5,000円
- ・ 事業概要 :
運動環境の向上と災害時の避難所として避難者の生活環境の改善を図るため、市民体育館アリーナに空調設備を設置する。令和8年度は、整備工事の設計を実施する。

(担当＝生涯学習スポーツ課)



▲空調設備を整備する市民体育館アリーナ